

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

LGBTについてどのくらい知ってる?

- ・暮らし
- ・LGBTだと気付いたとき
- ・就職、仕事
- など

LGBTの意味だけでも覚えてほしいです。

LGBTって何?

LGBTとは、

レズビアン

Lesbian (女性同性愛者) ⇒ 女性同士の同性愛者

ゲイ

Gay (男性同性愛者) ⇒ 男性同士の同性愛者

バイセクシャル

Bisexual (両性愛者) ⇒ 異性、同性問わず恋愛できる

トランスジェンダー

Transgender (性別越境者、性同一性障害含む)

⇒ 体と心での性が一致していない。

これらの頭文字をとった
セクシュアルマイノリティ
の総称

□ 生活の中での問題点とは？

“部屋を借りる”のが難しい！？

(例)

・ 男性同士で入居しようと思っている人達

- ・ 犯罪歴もない
- ・ 大きなトラブルも抱えていない
- ・ 大手企業で高収入

だとしても

LGBTということを伝える と、審査で落とされてしまうことが多い。

例えば、大家さんの許可を得ることができたとしても隣人、周囲の人の反対があると部屋を借りるのは難しく、法律で差別が禁止されようが関係なく大家さんの判断で落とされてしまう。

・ カミングアウトできていないから保証人を頼みづらい！

しかし、LGBT関係なく住める場所もある！！

・ パートナーシップ制度がない！ など

UR賃貸なら！

LGBT関係なく入居を認めてもらえる!!

収入について厳しく審査などあるが、LGBTの人たちにとって堂々と住めるので比較的暮らしやすいのではと思います！

□ 仕事・就職での悩み問題点とは？

就職面では、

- ・ 面接中にカミングアウトしたら性的マイノリティを理由におとされた。

仕事面では、

- ・ 昇進、昇格が条件に含まれており、同性パートナーは認められなかった
- ・ カミングアウトして環境が変わった (避けはじめられた、部署移動を命じられた)

私たちにできること

- ・ 性別の欄に男・女に限らず、その他の欄をつくる
- ・ 会社の募集ページなどにLGBTの象徴である虹の旗を載せる
- ・ 最初は戸惑っても、徐々に理解していき受け入れていく

気付いた時期

自分の性別に違和感を抱き始めた時期は、
就学前が35%、小学校低学年が20%、
小学校高学年が25%、中学校が5%、高校以降が15%。
小学校高学年までに違和感を抱いた人が全体の8割

調査結果

LGBT総合研究所が今年実施し、全国の20～69歳の男女、
約34万8千人が回答したインターネット調査



性的マイノリティに該当する方が10.0%
10人に一人



性同一性障害特例法で性別変更が認められた人の数

(人) 1000

800

600

400

200

2004

05

06

07

08

09

10

11

12

13

14

15



なぜLGBTは受け入れられないのか

世間の普通とは違う方たちに向けられる事多い差別的な言動。

それを恐れてLGBTの方の多くが公表できずに居る現状、また先に挙げたような、いろいろな不利益を被らなければならない現状など様々な問題があります。

何故か？

LGBTに限らず、障害を患ってしまっている方や、事故で体の一部が無かったり、動けなかったりする方達も同様な扱いを受けていることから、それは日本人が特に自分や自分の思う普通と違うものを受け入れがたいと思う傾向にあるからだと推測します。

このような状況を変えるためには更に認識を変えていく事が必要です

LGBTを「特別な事」としてでは無く「多様性」として捉えることで変わっていくことができると思います。



～私たちの身近にも～

別学・共学の違い

『別学のメリット』 異性の目を気にせずのびのびとした生活が送れる
男女の違いをうまく捉えた授業内容で勉強できる

『デメリット』 異性との適切なコミュニケーション能力が不足する

『共学のメリット』 男女の自然な交流が公私のともに充実した生活を送れる
異性がいるため多様な価値観に触れられる

『デメリット』 異性の目を気にしてしまう



男女の制服について

• 今の日本では、男性はこの服女性はこの服といった先入観があると思います。

• 対策

1. 制服を廃止して私服にする。

• メリット

自分の好きなものを着れる。

• デメリット

毎朝自分で服を選ぶ時間がかかる

2. 男女共有で着られるものを造る

→全員スラックスでスカートも購入できる。

• 先入観にとらわれずに自分の好きな洋服を着たりしていいと思います。



男性は青、女性は赤という固定概念について

男性は青、女性は赤という考えが出来上がったのは第二次世界大戦後のこと。このような概念がずっと続いているのは親からの影響のためである。男女色分けの起源となったのは18世紀のヨーロッパでの出来事がきっかけである。それ以前では男性が赤を身につけることも多かった。その後イギリスで起きた産業革命によって経済力とプライドを身につけた庶民は、貴族に反発する。そんな反発の現れとして庶民の男性は貴族とは真逆である青系の色、女性は明るい色の服を着るようになった。⇒このことから男性が青、女性が赤となったのは庶民が貴族に腹を立てたからとわかる。

男女平等問題について

世界で問題になっているジェンダー被害

日本では複数の大学医学部入試で、女子受験生に対し不利な得点操作が行われていた被害があり、世界では家庭女性や子どもに対する暴力のリスクが、大きくなっている